（様式1）

学校番号	45	学校名	茨城県立土浦第二高等学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

○日本国憲法
○教育基本法
○学校教育法
○学習指導要領
○県教育目標
○学校教育指導方針

校訓

明 ・ 悠 ・ 和

学校の教育目標

自律的で責任感のある人間として、多様な価値観をふまえ協働して活動し、現代社会を生きるための柔軟な思考力・判断力・表現力をもって、客観的に分析・考察することのできる人材を育成します。
1 未来に必要な資質・能力を身につけ、個々の学力の伸長と進路希望の実現を図る学校
2 豊かな感性や人間としてよりよく生きていく力を高める学校
3 保護者や地域と連携し、信頼される開かれた学校

生徒の実態

○心穏やかで、高校生として望ましい基本的生活習慣を身に付けた生徒が多い。
○規範意識を身に付けた生徒が多い。
○思いやりと協働の精神をもって人に接することができる生徒が多い。
○卒業後の進路目標を持ち、目標実現のために日々努力を重ねている生徒が多い。

保護者の願い

○思いやりのある生徒
○命を大切にする生徒
○感動する生徒
○自ら進んで学習する生徒

道徳教育重点目標

○人生の理想を求めて、希望と勇気をもってやり抜く強い意志および態度を身に付けた生徒の育成。
○真理を愛し、真実を探求し、理想の実現に向けて自己の人生を切り拓く積極的な生き方を追求する生徒の育成。
○自己の弱さを自覚し、その克服への意志を強く持つとともに、人間に内在する偉大で気高い可能性を信じて、希望をもってよりよく生きる生徒 の育成。
○世界に生きる日本人のひとりとしての自覚を持ち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の福祉に貢献する生徒の育 成。

地域の実態

○県南地区の中心都市として栄えてきた中心市街地であり、都心から60Km圏内であるが、近年つくば市に中心都市としての役割が移動しつつある。

各教科・科目

国語	適切に表現したり的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにする。
地歴	各地域の歴史や地理を学ぶことから、現代社会を把握させ、よりよい社会の実現を考えさせる。
数学	事象を数学的に考察し処理する能力を高め、それらを積極的に活用する態度を育てる。
理科	自然に対する関心や知識を高め、科学的な自然観を育成するとともに、環境問題に対する意識を高める。
保体	健康や安全などの知識や様々な運動の実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、常に体力向上をはかり、明るく豊かな生活が送れる態度を育てる。
芸術	将来にわたって芸術を愛する心情を育てるとともに、豊かな情操を養い芸術を愛する態度を培う。
外国語	言語や文化への関心を深め、視野を広げ、異文化を理解し尊重する態度や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
家庭	家族や家庭、社会の意義を考えさせ理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して社会を築いていけるような実践的な態度を育てる。
情報	情報モラルと情報に対する自己責任の育成を図る。 情報を主体的に活用する能力を育成する。
総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成する。
専門	

特別活動

ホームルーム活動

○討議型・協働型の授業を通じて、道徳的判断力、道徳的実践と態度を身につける。
○討議型・協働型の授業を通じて、集団や社会の一員としての自覚をもち、他の人と適切な関係を築く。
○道徳教育全体計画及び「道徳」年間指導計画の充実
○ファシリテーター（対話促進者）としての役割の充実
○効果的な発問の工夫

〔ホームルーム活動〕
クラスの一員としての自覚を高め、学校生活への適応を図るとともに、その充実と向上を目指す。また、活動を通して道徳教育の充実を図る。
〔生徒会活動〕
生徒会活動において、学校生活の充実や改善向上を図ろうとする自主的・実践的な態度を養う。また、学校行事やボランティア活動等への取組を通して、愛校心や郷土愛を養う。
〔学校行事〕
様々な学校行事を通して、他人との関わり合いを学び、自らを振り返りながら、日常生活に活かしていく。

公民科

公共

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

○地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論する。
○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

生徒指導

○共感的な人間関係の構築を図るとともに、生徒一人一人が目標をもって将来を展望し、自己実現を図ることができるように援助する。
○規律・規範を遵守させ、基本的な生活習慣の重要性と自己の責任について自覚させることを目指す。
○教育相談における対応などの職能向上や指導体制の充実を図る

家庭との連携

○保護者・担任の面談や、グループウェア等を活用した連絡を通して迅速かつ的確に情報を共有し、教育活動への理解と支援を求める。
○学校行事等への保護者の積極的参加を図る。

地域社会との連携

○ホームページ等を活用し、地域に学校の情報を積極的に公開し、開かれた学校づくりを推進する。
○学校ホームページの更新を徹底し、教育活動状況等の情報発信を図る。
○学校評議員の活用
○地域人材の活用。